みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校　学校だより　　令和７年９月１２日

たっちゅう

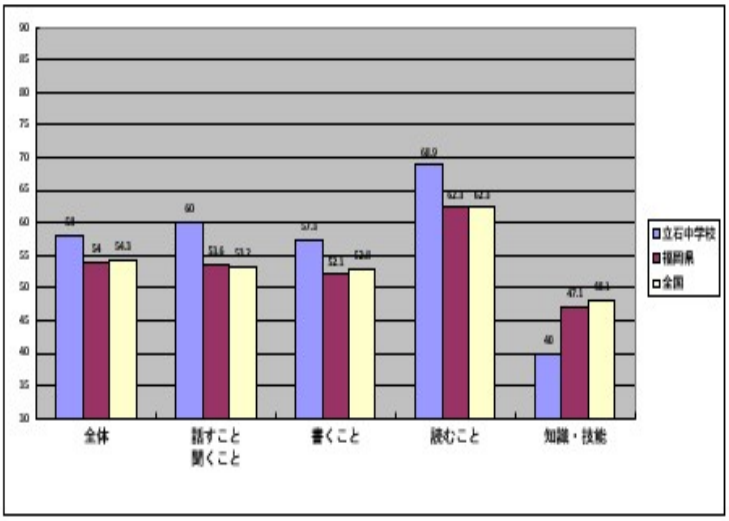
９月号①　校　長　安上　訓史

～全国学力・学習状況調査結果から～

毎年４月中旬に中学校３年生を対象として「全国学力・学習状況調査」を文部科学省が実施しています。今年度の調査結果から見えてきたことをお伝えしたいと思います。

【全国学力調査の目的】
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況 を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児 童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

国　　語　（中学３年生）　※すべての領域で全国・県を上回っている。



	立石中学校	福岡県	全国	全国との差
全体	58	54	54.3	3.7
話すこと 聞くこと	60	53.6	53.2	6.8
書くこと	57.3	52.1	52.8	4.5
読むこと	68.9	62.3	62.3	6.6
知識・技能	40	47.1	48.1	-8.1

〈領域別分析（課題点）と国語指導改善のポイント〉

〇話すこと・聞くこと

・自分の考えを分かりやすく伝えるという力が不十分。
根拠や理由付けを明らかにした主張ができるような指導の充実を行う。

〇書くこと

・読み手の立場に立って文章を整えて書くという力が不十分。
読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるようになるための指導の充実を行う。

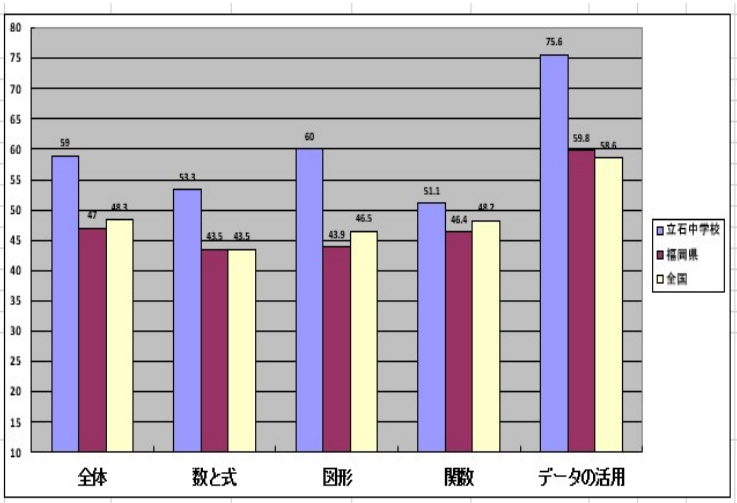
〇読むこと

・文章の内容について根拠を明確にして読み取る力が不十分。
文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるようになるための指導の充実を行う。

〇知識及び技能

・語彙の知識と理解が不十分。
日常的な漢字指導の充実、多様な語句・語彙指導の充実を行う。

数　　学　（中学３年生）　※すべての領域で全国・県を上回っている。



	立石中学校	福岡県	全国	全国との差
全体	59	47	48.3	10.7
数と式	53.3	43.5	43.5	9.8
図形	60	43.9	46.5	13.5
関数	51.1	46.4	48.2	2.9
データの活用	75.6	59.8	58.6	17

〈領域別分析（課題点）と数学指導改善のポイント〉

〇数と式

・数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

・式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明することができていない。
発展問題として、日常的な事象から数学的な表現を用いて説明する問題を扱う。

〇図形

証明を書くだけでなく，問題からどのような図形の性質が見いだせるか考える場面を設け，積極的に説明を書く活動を取り入れる。

〇関数

・問題解決の方法を（グラフ、表、関係式）を使って説明することに課題があった。
問題文・グラフから問題場面を読み取り、数学的用言（表・式・グラフ）を用いて問題解決の方法を記述する練習をする。

〇データの活用

・データを読み取る表や図の理解が十分でない。
データの読み取りに関しては、度数分布表と箱ひげ図を習熟させ、データを読み取ったり説明したりする活動を仕組む。

理　　科　（中学３年生）・・・３年に一度おこなわれている。
問題数も限られており、分析の仕方も異なる。

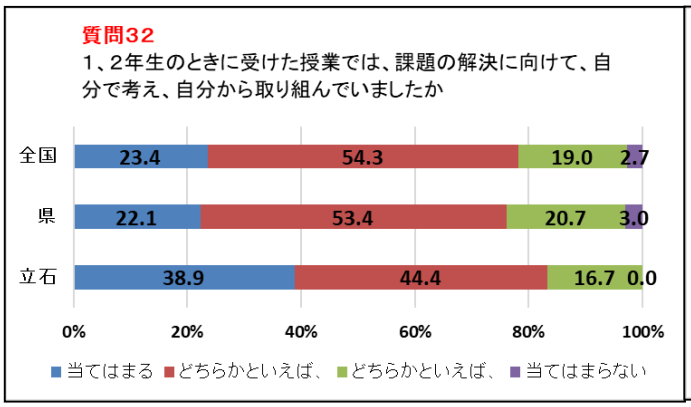
□理科は、ＣＢＴ（コンピュータを使った試験）によるＩＲＴ（項目反応理論）で分析結果を示しています。

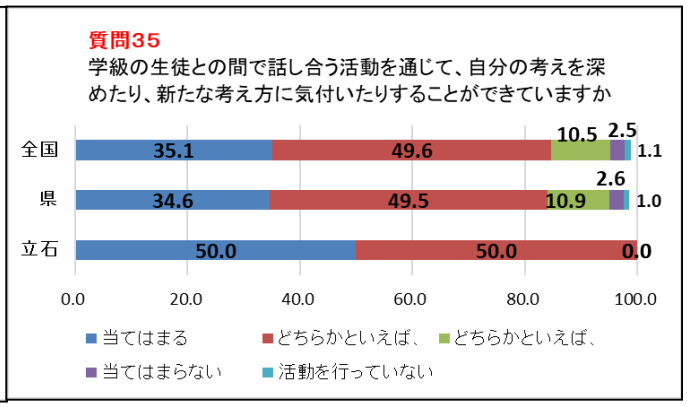
平均正答数集計値

□	生徒数	平均正答数	平均 IRT スコア
小郡市立立石中学校	18	2.9 / 6	504
福岡県（公立）	40,221	2.8 / 6	497
全国（公立）	864,634	2.9 / 6	503

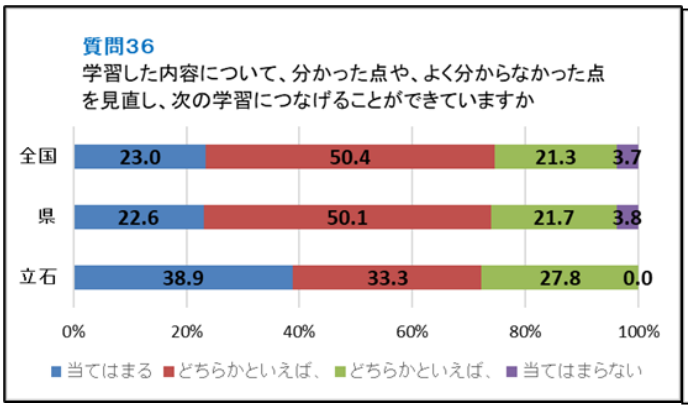
※ＩＲＴスコアで全国より１ポイント、県で７ポイント上回っている。

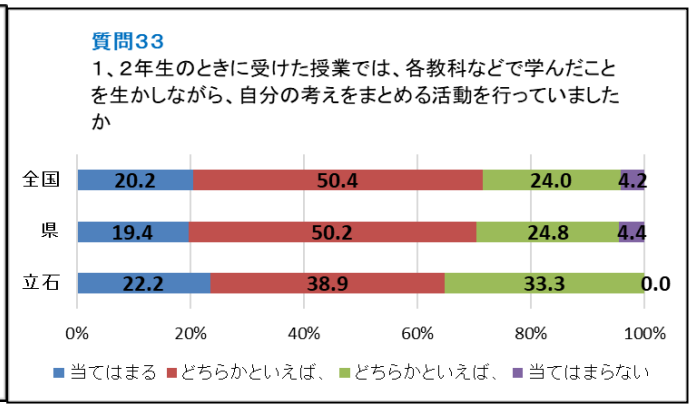
【生徒質問紙より（グラフ）】※一部抜粋



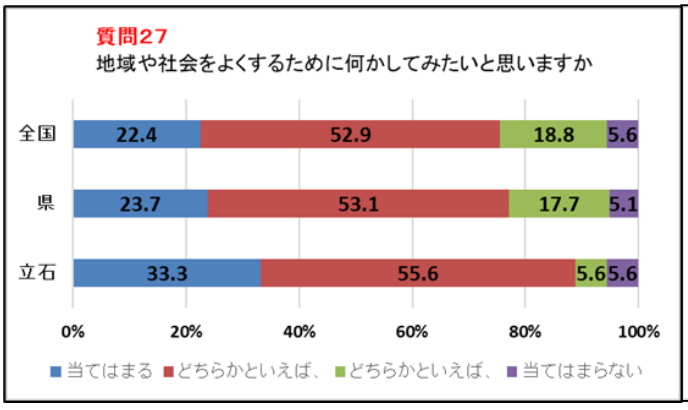


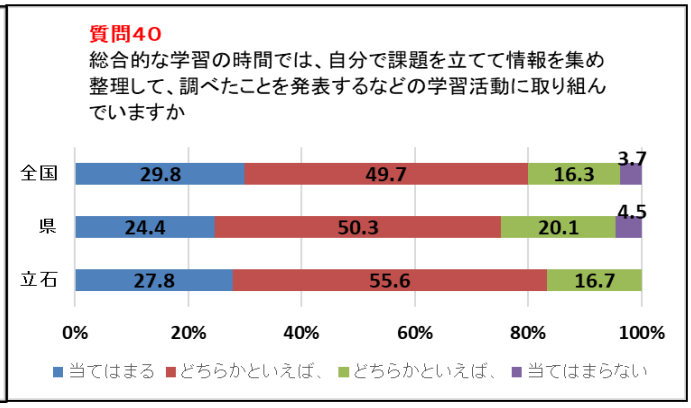
質問 32 から「子ども主体の授業づくり」が推進されていると考える。また、質問 35 から研究主題に迫るための「対話活動（立中 Com-learning）」も推進されていると考える。



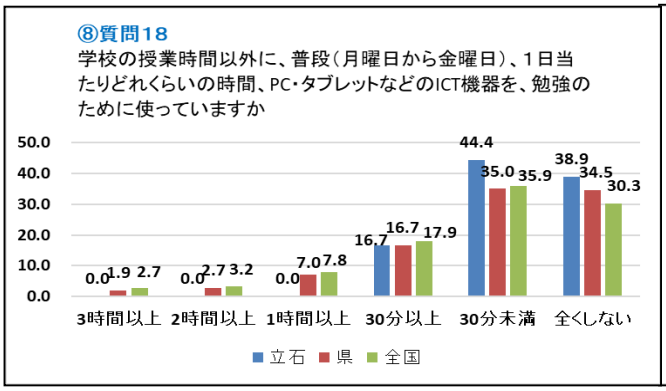


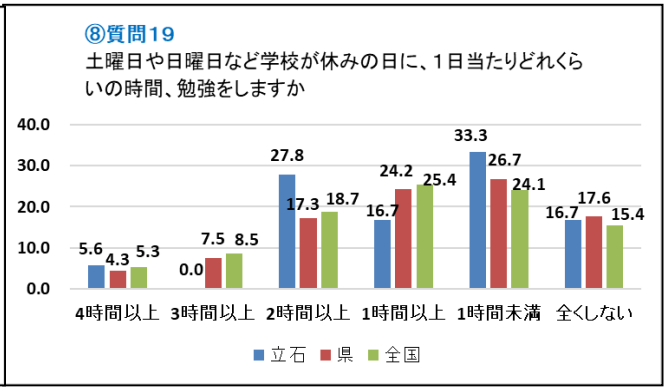
質問 33 と質問 36 から、振り返りを大切にする授業づくりが必要と考える。その際、メタ認知を高める手立てを意識することも必要と考える。また、各教科で学んだことを生かすという観点から、教科等横断的な視点に立った授業づくりも必要と考える。





質問 27 から、子どもたちは、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考えている(肯定的回答 88.9%)。学校教育目標である『郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子ども』に迫っていると考える。また、質問 40 から、総合的な学習の時間において、地域と連携した（地域のひと・もの・こと）『くろつちカリキュラム』の成果が表れていると考える。





本校生徒の家庭学習の時間の少なさは、毎年課題として挙げられる。特に、質問 19 から、休日の家庭学習の時間に課題が見られる。「1 時間未満」及び「全くしない」という生徒が、全国を上回ってる。「みどりの森ノート」の取り組みで改善を図っていきたい。質問 18 から、授業以外での学習に対するタブレットの活用状況が低いことが分かる。家庭学習の充実に向けてタブレットを上手に活用することも必要であるかもしれない。

総合的な学習の時間の取り組みについて

９月１６日（火）・１７日（水）に１．２年生は、体験学習を行います。１年生は、平和学習を行いますが、その事前学習として、１日（月）から、石川先生を講師としてお招きし、大刀洗空襲について学習を深めていっています。当日は、バスを使ってフィールドワークを行い、大刀洗飛行場跡地などを巡っていきます。多くのことを学んでほしいと思います。２年生は、一昨年度より復活した職場体験学習を行います。立石校区にある１４の事業所にお願いし、２日間職場に出向き、働くことについて体験します。事業所へ電話を生徒がかけたりしながら本番を迎えます。３年生は、進路学習として、私立高校１０校をお呼びして私立高校説明会を行うにしています。

～今後の行事予定～

・９月１９日(金) **教育条件整備学習会及び署名活動説明会**
（１８：４５受付　１９：００開始　立石小体育館）
※全保護者参加　　※全教職員参加

・９月２０日（土）くろつち祭り
・９月２６日（金）選手激励会、教育実習終了
・９月２７日（土）ブロック新人大会（２８日(日)予備日）
・９月２９日（月）学級主張大会
・１０月　１日(水) 到達度テスト（3 年生）
・１０月　３日(金) 小中合同あいさつ運動、ＰＴＡ役員会
・１０月　６日(月) 中間テスト１日目
・１０月　７日(火) 中間テスト２日目
・１０月１０日(金) １年生伝統文化体験（１日目）
・１０月１４日(火) １年生伝統文化体験（２日目）　英検ＩＢＡテスト
・１０月１６日(木) 文化発表会
・１０月１７日(金) ３年地域の方に学ぶ（「立石の未来を語る①」）
・１０月１８日(土) 市郡駅伝大会、立石小運動会